

文化庁令和2年度
メディア芸術連携基盤等整備推進事業

Ludo-Musica

音楽からみるビデオゲーム

2021

1.27 *wed.* ⇒ 2.26 *fri.*

観覧無料

デジタルゲームの 音楽をテーマとしたオンライン展示

本展示は「文化庁令和2年度メディア芸術連携基盤等整備推進事業」の一環として実施するものです。立命館大学では平成27年度より文化庁の委託を受け、ゲームアーカイブ所蔵館の連携推進およびゲームアーカイブ利活用の調査・実践を進めて参りました。

この度、これらの活動のひとつとして、以下の三点を目的に展示を実施する運びとなりました。まず、文化資源としてのビデオゲームを、音楽という観点から強調するための展示を行うこと。次に、新型コロナウイルス感染症が急速に蔓延する中で、オンライン展示という手段をビデオゲームの領域に持ち込み、文化振興や生涯学習の可能性を探ること。最後に、「メディア芸術データベース」との連携から、立命館大学が進めてきたゲームアーカイブを利活用していくための実績を蓄積すること。これら複数の目的を兼ねた課題発見型のパイロット展示が本展となります。

今回の展示では、ゲーム開発、アーカイブ、ゲーム研究等に従事する有識者が推薦する作品を一本ずつ展示します。様々な切り口からピックアップされたゲーム音楽をお楽しみ下さい。

展示作品

- ・ ニューラリーX (1981)
- ・ パックマニア (1987)
- ・ ファイナルファンタジー II (1988)
- ・ パラッパラッパー (1996)
- ・ リアルサウンド ～風のリグレット～ (1997)
- ・ グランド・セフト・オート・バイスシティ (2002)
- ・ ゼルダの伝説 風のタクト (2002)
- ・ Child of Eden (2011)
- ・ ファイナルファンタジー XV (2016)

<https://ludomusica.net>



Ludo-Musica とは？

本展示のタイトルである「Ludo-Musica」は「遊び (Ludus)」と、「音楽 (Musica)」を組み合わせた造語です。古来より続いてきた様々な音楽とは異なる「ゲーム音楽の特色」を広義の“遊び”という切り口から展示するという意図を込めています。

閲覧推奨環境

Microsoft Edge、Google Chrome、
Firefox、Safari (各パソコン版最新バージョン)

連絡先

立命館大学ゲーム研究センター
担当：尾鼻 (bana@fc.ritsumeji.ac.jp)